

1 単元名 表現を楽しみ、言葉の世界の奥深さを知る

「俳句の可能性」宇多喜代子 「俳句を味わう」「言葉を選ぼう」

2 指導目標について

- ◎ 文章の構成や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深めることができる。思・判・表C(1)ウ
- ◎ 表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。思・判・表B(1)ウ
- ◎ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。思・判・表B(1)エ
- 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。知・技(1)イ
- 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。知・技(1)ウ
- 進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、俳句を創作しようとしている。学びに向かう力、人間性

3 言語活動

古中俳句大会に出品する俳句を選ぼう。(仲間に読んでもらうことを意識して俳句を作る)

3年〇組の生徒は、自分の考えをじっくり考えたり、表現したりすることが好きな生徒が多い。その反面、相手を意識して表現することが弱い。今回は、言語活動に「古中俳句大会」を設定し、仲間や先生に読んでもらうこと、「良い俳句だね」と選んでもらうことを意識して取り組むことで、相手意識を持って取り組めるようにしたい。俳句大会に出品する俳句は、1人1句とする。自分の伝えたいことが相手に伝わる俳句に近づけるよう、様々な視点から書き換えたものを比べながら、納得のいく1句を俳句大会に出品できるようにする。俳句大会のやり方は、次のように行う。

【俳句大会】

- ①教室の廊下に、1人1句清書した俳句を掲示する。作者が分からないよう名前は書かない。(俳号を使用する)
- ②様々な先生に俳句を読んでもらい、「その瞬間の写真が思い浮かぶような俳句」だと思えるものを選んでもらう。
- ③それぞれ先生に選ばれた句は「〇〇先生賞」として花をつけ、選ばれた生徒にはその先生からささやかなプレゼントがもらえる。

また、作った俳句をコンクール等に出品することもできると伝えることで、生徒により活動意欲を持たせたい。

俳句作りは昨年度も行ったが、題材選びに悩む姿が多く、俳句を作り始めるまでに時間のかかる生徒がいた。今回はスムーズに題材選びが進められるよう、単元の始まる前の土日にタブレットを持ち帰り、俳句の題材にしたい自分の気に入った瞬間を何枚か自由に写真に撮ってくるようにする。

4 単元指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準
1	<p><b>学習の見通しをもと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を知り、学習の見通しを持つ。</li> <li>・俳句の基礎知識を確認する。</li> <li>・今回の俳句大会で選ばれる基準は「その瞬間の写真が浮かぶような俳句」かどうかである、ということ全員を確認する。</li> <li>・写真を題材に俳句を作ってみる。</li> <li>・次回までに俳句で詠みたい題材を写真で撮ってくることを宿題にする。（ロイロノートに俳句とその瞬間のエピソード、写真を提出）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句大会の方法を確認し、生徒が創作意欲を持てるようにする。</li> <li>・俳句は上五・中七・下五の十七音で構成されること、促音・拗音・長音の音の数を理解できるようにする。</li> <li>・2つの俳句を例として挙げ、「その瞬間の写真が思い浮かぶような俳句」とはどんな俳句なのか、単元のゴールのイメージを持てるようにする。</li> </ul> <p>○マスク取り溜息一つ夏の帰路 ×十五歳もう来ないかなサンタさん (どちらも第21回一茶全国小中学生俳句大会の特選句)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材はできれば実物を写真に撮ってくることで、ただし読みたい題材が今すぐ写真に撮れないものである場合は、題材に似た風景や状況を撮ってくることにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> </ul> <p>知・技(1)ウ</p>
2	<p><b>より良い俳句にするためにコツを知ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題で俳句を作ってみて、どんな困り感を持ったか共有する。</li> <li>・俳句を作る視点を学ぶために、「俳句の可能性」「俳句を味わう」を読んだり、才能査定映像を見たりする。</li> <li>・俳句を作る視点を、その効果も確かめながら生徒の言葉で共通理解する。</li> <li>・「言葉を選ぼう」や便覧を参考に、マッピングや取り合わせ等、俳句の作り方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困り感を解消するという目的意識をもって、教科書を読めるようにする。</li> <li>・「その瞬間の写真が思い浮かぶような俳句」にするには、どうすればよいのか考え、俳句をつくる際の視点を生徒の言葉から作っていく。</li> <li>・本時で出た視点の中から、自分の俳句に取り入れたい視点や自分の俳句の改善点となる視点を選べるようにする。</li> <li>・第3時に推敲する際、最初に作った俳句と比べることができるように、ロイロノート上に第2時に作ってきた俳句を残しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>知・技(1)イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深めている。</li> </ul> <p>思・判・表C(1)ウ</p>
3	<p><b>視点を明確にして俳句をより良くしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「その瞬間の写真が思い浮かぶような俳句」にするために、どんな効果を期待してどう変えるとよいのか、視点ごとに用意された資料などを用いて自分なりに考える。</li> <li>・第2時に宿題で作ってきた俳句と第3時に推敲して磨いた俳句を比べる。（ロイロノート、シンキングツール）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3時は「どんな効果を期待してどう変えたか言えたら○だよ。」と出口を示す。</li> <li>・季語一覧、歳時記や俳句に関する書物、それぞれの視点で手本となりそうな俳句などの資料をヒントとして準備しておく。</li> <li>・ロイロノートのシンキングツールを用いて、前時の俳句と第3時に推敲した俳句を比べられるようにしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、俳句全体を整えている。</li> </ul> <p>思・判・表B(1)エ</p>
4 本 時	<p><b>その瞬間の写真が相手に伝わる俳句にしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時推敲した俳句を同じ視点で俳句を作った仲間に見せながら、自分の期待した効果が発揮されているか確かめる。</li> <li>・違う視点で俳句を作った仲間とも交流し、相手に自分の伝えたい瞬間が伝わるか確かめる。</li> <li>・仲間のアドバイスを受けて自分の俳句を完成させる。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4時は「自分の伝えたい思いが相手に伝わる俳句を作れたら○だよ。」と出口を示す。</li> <li>・視点ごとにグルーピングし、仲間と交流しやすい環境を準備する。</li> <li>・仲間からのアドバイスがメモできるようなプリントを準備しておく。</li> <li>・違う視点で取り組んだ仲間が誰か分かるよう、座席表で誰がどの視点で取り組んだか分かるようにしておく。</li> <li>・振り返りによって主体的に課題に取り組めたか評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。</li> </ul> <p>思・判・表B(1)ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで言葉を集めたり仲間と交流したりして、自分の伝えたい思いが分かりやすく伝わる俳句を作ろうとしている。</li> </ul> <p>学びに向かう力、人間性</p>
5	<p><b>心を込めて俳句を仕上げよう</b></p> <p>古中俳句大会に出品する作品を、筆ペンで清書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下に掲示する作品も、先生たちが純粹に句のみで選べるよう名前ではなく俳号を書くようにする。</li> </ul>	

5 本時のねらい

用いた表現の効果を検証した上で、自分の伝えたい思いが相手に分かりやすく伝わる俳句を作ることができる。思・判・表

B (1) ウ

6 本時の展開 (4時間/全5時間)

	学習活動	指導・援助
導入 5分	<p>○ 本時やることの見通しをもつ。</p> <p>①本時の出口「自分の伝えたい思いが相手に伝わる俳句を完成させること」を示す。</p> <p>②相手に伝わるかどうかを確認するために、つなぎタイムをそれぞれ行うこと確認する。またつなぎタイムでの学び方のモデルを示す。</p> <p>③同じ視点の仲間だけでなく、違う視点で俳句を作っている仲間とも交流することで、新たな気付きがあることを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに生徒の意見から作った「俳句を作るときの視点」を掲示しておく。</li> <li>・前時にどの視点で考えたかを参考に、同じ視点で考えた子と話がしやすいよう小集団を作り、席を移動しておく。</li> </ul>
展開 35分	<p style="text-align: center;"><b>その瞬間の写真が相手に伝わる俳句にしよう。</b></p> <p>【個人追求⇄つなぎタイム】</p> <p>○ 仲間と俳句を見せ合いながら、意見を言い合う。 (例) オノマトペ視点、季語視点で考えている A さん 俳句…夏日陰手をコロコロとダンゴムシ</p> <p>オノマトペ G でのつなぎタイム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A「ダンゴムシの可愛さを伝えたいからコロコロという言葉を使って句を直してみたんだけど、どうかな？」</p> <p>B「ダンゴムシはすでにコロコロしているイメージがあるから、小さくて可愛って感じのちまちまとか、よちよちとか使うとどう？」</p> <p>A「でもそれだと歩いている感じがするよね。私が伝えたいのは手の中で転がった様子なんだよね。」</p> <p>B「じゃあ、コロコロの他にくるくるとか？ころろだと落ちちゃいそうな感じがするんじゃないかな。」</p> <p>A「なるほど。」</p> </div> <p style="text-align: center;">季語 G でのつなぎタイム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A「夏日陰という季語を使うことで、夏の暑い日に虫捕りしていることが伝わるようにしたんだけどどうかな？」</p> <p>C「カンカン照りの中でダンゴムシを見てるの？片かげりっていう季語もあるよ。」</p> <p>A「片かげりって季語はどういう意味？」</p> <p>C「この本見ると、すごく暑い日に建物とかでできた影って意味だね。」</p> <p>A「ほんとだね。片かげりのほうが、暑い中虫捕りして、ちょっと影で立ち止まって、手の中を覗き込んでる様子って感じが伝わるかも。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぎタイムでは、ロイロノートの Y チャートを用いて、何を伝えたくてどう直したか、示しながら話せるようにする。</li> <li>・それぞれの場所には、視点に応じてオノマトペ辞典、歳時記、季語一覧、視点を用いた中学生の俳句の例などの資料を置く。ロイロノートの資料箱にもデータを入れておき、どちらか選択して情報を集められるようにする。</li> <li>・教師は必要以上に口出しせず、ファシリテーターとして支援する。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">提出する俳句…片かげりコロコロ落ちるなダンゴムシ</p>	<p>◇評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用いた表現の効果を検証した上で、自分の伝えたい思いが相手に分かりやすく伝わる俳句を作ることができている。</li> </ul> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p>
終末 10分	<p>【振り返り】</p> <p>○ ロイロノートで作った俳句を提出する。</p> <p>○ 仲間のアドバイスから、どんなことを考え俳句を完成させたか書く。 「B さんにコロコロに似た意味のオノマトペを教えてもらったことで、ダンゴムシが単に転がっているだけでなく、落ちないように注意している作者の気持ちも伝えられるのではないかと考えて、コロコロという言葉を選ぶことが出来た。」</p>	<p>B (1) ウ</p> <p>評価方法 提出した俳句</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで言葉を集めたり仲間と交流したりして、自分の伝えたい思いが分かりやすく伝わる俳句を作ろうとしている。</li> </ul> <p>〔学びに向かう力、人間性〕</p> <p>評価方法 振り返り</p>